

製品名: RSF1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86378**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:164 kDa; Observed MW:325 kDa

抗原情報

遺伝子名	RSF1
別名	XAP8; p325; HBXAP; RSF-1
遺伝子ID	51773
SwissProt ID	Q96T23
免疫原	ヒトRSF1の合成ペプチド

背景

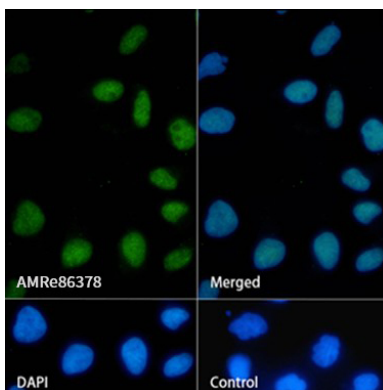
この遺伝子は、B型肝炎ウイルスXタンパク質（HBX）と相互作用し、HBX転写活性化因子によるB型肝炎ウイルス遺伝子の転写を

促進する核タンパク質をコードしており、この相互作用がウイルスのライフサイクルにおいて何らかの役割を果たしていることを示唆しています。また、このタンパク質は SNF2H タンパク質と相互作用して RSF クロマチンリモデリング複合体を形成し、SNF2H サブユニットはヌクレオソーム依存性 ATPase として、RSF タンパク質はヒストンシャペロンとして機能します。[RefSeq 提供、2011 年 9 月]

研究分野

-

画像データ



RSF1 ウサギモノクローナル抗体を使用して RSF1 を標識した HeLa 細胞の免疫蛍光分析。